

安全に関するちょっと難しいクイズ

ークイズに参加して一歩進んだ知識を身に着けようー

機器と安全に関する委員会企画

超音波の安全性について関心をもつ会員は決して多くはありません。特に最も関心を持って欲しい臨床の医師で、十分な知識を持っている会員の割合は少ないでしょう。しかし造影剤の使用、ARFIなど今までは想定しなかった波形を使った診断、さらには新たな治療機器の登場など超音波医療は日進月歩です。これにともない安全に関する知識は常にリニューアルを要求される時代となり、必要十分な理解にはかなり高度な知識が要求される時代となりました。臨床で使用する装置の安全性に関する知識はますます重要性を増しています。

日本超音波医学会では、学会として医師・技師・研究者への啓発を行い、超音波医療に携わるものが十分な知識を持って、安全に超音波医療を行うべくサポートを行っております。本セッションでは、会員の皆様に特に臨床で役に立つ重要なポイントを取り上げて、参加型のクイズ形式で行いたいと思います。

公益社団法人日本超音波医学会
第90回学術集会
会長 谷口 信行
機器及び安全に関する委員会
委員長 秋山いわき

日本超音波医学会が企画する安全に関する ちょっと難しいクイズを参加型シンポジウムで

日時：5月26日（金）15：00 - 16：30
会場：第2会場（栃木県総合文化センター1階サブホール）
司会：名取道也（東京医科大学） 工藤信樹（北海道大学）

問題1；あなたの超音波検査室は検査者にやさしいか

問題2；超音波による発熱と各モードの関係の深い話

問題3；造影剤を使用しての検査では、各科の連携が必要

問題4；MIを自分で計算してみれば解ること